

あいさつ

と でつながる上島町



上島町長
上村 俊之

上島町の皆様、明けましておめでとうございます。
輝かしい新春を迎え、懐かしい顔や新しい家族とともに、爽やかで明るい「ふるさと」の暖かさ」に包まれていらつしやるのではないでしょう

か。
昨年を顧みますと、北関東での竜巻被害、高知県四万十市では国内観測史上最高気温を観測、さらには伊豆大島やフィリピンでの台風災害など、改めて自然の脅威を知らされる出来事が多くありました。

その反面、アベノミクス効果による景気回復の兆しが表れ、国の税収も予想を越える数字となり、東京オリンピック2020年開催決定、式年遷宮、富士山世界遺産登録など、明るいニュースも聞こえはじめてまいりました。

昨年の広報かみじまでの「新年のごあいさつ」

の中で、『町民の皆様の「夢」は何でしょう。か。「夢」はたくさんあり、「夢とは叶えるもの」です。今年の上島町の大きな夢は「岩城橋の実現」です。生名橋架橋に向けて、地域住民の熱意により知事を感じさせ国を動かしたように、上島町民の力で岩城橋は実現できます。町民お一人お一人の力で岩城島と生名島に橋を架けましょう。一つの目標に向かって上島町民が肩を組ましましょう。そのスクラムが強ければ強いほど、他の施策も必然的に成就していきます。」と書かせていただきました。

その町民の積年の願い「岩城橋架橋」が昨年、平成25年度に初めて国の予算として認められ、いよいよ現実の事業として具体的に動き始めました。岩城島と生名島を繋いだその橋の姿を自らの目で確認する為に、これからも町民が肩を組み、手を繋いで「チームカミジマ」の熱意を、愛媛県や国に伝えてまいりましょう。

そして、政治や行政の重要な仕事の一つは「弱い人」や「不便な地域」を守る事であり、それは県や国だけではなく町も直視しなければならぬ大切な重要施策です。物理的に橋が架からない魚島や高井神島などの地域に対し、上島町が示した行政施策や日々の利便性に欠ける生活環境に「公平・公正の原則」はもとより、「共助の心」や「思いやりの心」で町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、新年も楽しみが多い年です。もちろん、老人福祉でもある医療や介護、子育て支援や教育、現役世代への経済対策や社会保障など、基本である施策は今後もしっかりと取り組んでまいります。人間は生きていく上で三大栄養素以外にビタミンも必要です。娯楽やスポーツもその一つだと思います。

本年、愛媛県及び広島県により瀬戸内を舞台とした「瀬戸内しまのわ2014」が開催され、我が上島町も日本ばかりではなく世界に注目される年になります。主なイベントは、今まで上島町で行われていた「桜まつり」や「ふるさと夜市」などの既存行事をスケールアップ、さらには新たな民間企画のイベントなど、地域の行事が広く世界に発信されます。

また、最終日の10月26日にはしまなみ海道の自動車道を走破する、「瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会」が実施され、上島町もそのルートの一つになっています。上島町の歴史や伝統とともに、豊かな食文化を伝える絶好の機会です。日本全国はもとより、世界各国からのお客様が上島町にもお越しになりますので、町民の皆様には「おもてなし」の心で迎えていただきますようお願いいたします。

更に今年は「上島町合併10周年」という記念すべき年であり、それを祝って「記念式典」「だんじりかき比べ」など、様々な行事を計画しています。

もちろん、主役は「あなた」であり上島町民です。
出演者として参加していただく事はもちろん、来賓やメインスタッフあるいは観客として、上島町民全員の参加をお待ちしています。

上島町は「日本で最も美しい村」連合に加盟を許されていますが、私もサイクリングで上島町を巡り、瀬戸内から昇る朝日や、島陰に沈む夕日、自然と調和のとれた橋や穏やかな海を見るたびに「私の住む島々はなんと美しいんだろう。」との感動とともに、誇りさえも心の底から湧きあがってきます。

東日本大震災での被災地も、本格的な復興に向けて動いており、上島町も職員の現地派遣等により支援を続けています。上島町の地場産業でもある造船業界も需要の拡大が確実なものとなり、更に明るい兆しが見え始めています。

上島町民の皆さんが自らの事のみを前面に押し出すのではなく、辛抱強く地域や職場で力を尽くされ「世界に誇れるふるさと」として上島町が着実に歩み続けていることを実感しています。

結びに、新年が4町村合併から10年の節目となるのと同時に上島町が新たな飛躍を始める節目の年になること、そして皆様にとりましてより良い年となり、健康で明るく楽しい日々になりますことを、心から祈念申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

上島町長 上村 俊之

平成26年 新年のご

海と緑と太陽
笑顔



上島町議会議長
土居 計彦

新年、明けましておめでとうございます。上島町議会は本年も町民の皆様に「住みよい・暮らし易い」町づくりを行うため頑張ります。

その為には、皆様のご意見やご要望を良く聞いて、そのことが改善されるように、行政に提言を行って参ります。行政も議会も町民の為にあるのだということを忘れてはなりません。

今年は嬉しいことが二つあります。一つは、永年待ち望んでいた高齢者福祉の為に「サービス付き高齢者向け住宅」が「高齢者生活支援施設」を併設して、町の補助金も受け弓削地区で始まることです。

この施設は高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた上島町で安心して暮らす

ことができる住宅であり、4月から業務を開始すると聞いております。

もう一つは愛媛県と広島県が共催して開催される瀬戸内しま博覧会「瀬戸内しまのわ2014」が私達の住んでいる島と海を舞台にして、3月21日から10月26日の間開催されることです。町民一体となって「上島町ここにあり！」と全国に発信して、将来の観光客誘致の起爆剤になるよう期待しております。

上島町が早急に取り組まなければならない課題は沢山あります。

先ず、何といっても、若者が上島町で暮らしている環境作りが急務です。現在上島町で頑張っている企業を大切に、新しい企業誘致や地場産業の育成に取り組まなければなりません。

大切に育てた若者が都会の大学を卒業して、故郷へ帰りたいと思っても、働くところが無い。近隣市町の企業にも上島の若者の採用をお願いする働きかけも必要です。

次に、今住んでいる人が暮し易くなる改善は早くしなければなりません。

通勤・通院・買い物などで、因島・今治方面へ行くときの町内バス便と船便の連携の見直しには強い要望があります。そして、交通が不便な地区にはデマンドバス等の運行も必要と考えます。

又、将来、自然環境を活かした観光で生きていくのであれば、自然環境における「景観・環境・癒し」の側面から上島町をアピールする事業を検討していく必要があると思います。昨年、発足した「上島町観光協会」にも大いに期待しています。

● 他にも大切な課題があります。生徒数定員割れにより、存続が危惧されている弓削高校への支援

● 岩城橋架橋工事への協力

● 上島町の重要な教育機関である「国立弓削商船高等専門学校」への協力・支援

● 地球温暖化の影響で発生する大規模災害に対する、避難場所の確保と周知等です。

議会といたしましても、このような動向を的確に把握し、町執行部と協力して、これらの問題点を解決していく決意でありますので、皆様方の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

午年のこの一年が町民の皆様にとりまして、希望に満ちた、飛躍の年になりますようお祈りします。

上島町議会議長 土居 計彦

上島町議会

議長
副議長
議員

土居計彦	平山和昭	古崎幸江	林廣道	寺下憲	亀井文男	檜垣一成	濱田高嘉	前田省二	原山公男	竹林秀夫	原本博彦	池本興治	松原彌一
------	------	------	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------